

ご あ い さ つ

岐阜県立関特別支援学校長 佐藤 秀樹



岐阜県立関特別支援学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

当校は昭和41年に岐阜県における最初の県立養護学校としてここ向山（桐ヶ丘）の地で開校しました。以来、肢体不自由の児童生徒を教育する中核的な学校として、岐阜県の特別支援教育の一翼を担ってきました。一昨年の平成27年度には50年の節目の年を迎えるとともに、病弱児も対象として新たな歩みを始めたところです。

## 校 訓

## 尽 力 必 成（じんりよく ひっせい）

校訓の「尽力必成」は、当校の児童生徒がどのような姿勢で学ぶかを表現したもので、校歌にも「理想を高くかかげつつ、まなびの道にはげみあい」と歌われています。校訓が示す「力を尽くせば何事も達成できる」という力強い言葉は、建学の精神として今に受け継がれています。



校章は「さんざし（山査子）の花」を図案化したもので、中央にある「Y」は成長する若芽を表しています。5月の花（メイフラワー）とも呼ばれ、その花言葉は「希望」や「誠実」です。校歌に「強く明るく生い育つ」と歌われるように、児童生徒が、希望と誠実さをもってたくましく生きていってくれることを願ったものです。そのためにも、私たち教職員は率先垂範で児童生徒と共に「希望」を語り、「誠実」に学び続けてまいります。



山査子の花

今年度は、小学部3名、中学部5名、高等部4名の新入生を迎え、全校児童生徒60名でのスタートとなりました。児童生徒数は減少傾向にありますが、校訓の「尽力必成」を信じ、校歌にあるように「不屈の気概」で、「強く明るく」活力のある学校を目指してまいります。

なお、このホームページには、関特別支援学校の概要や学校行事、進路状況、学校評価、地域支援事業等、多くの情報を掲載しています。当校についてご理解を深めていただくとともに、その魅力も知っていただくと幸いです。

子どもたちは、保護者の皆様や地域の皆様の春風のような温かさに包まれながら、社会参加・自立への道を一步一步と進んでおりますので、一層のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

【平成29年4月】